

## 保健医療大学の入学試験における出題誤りについて

令和5年11月18日(土)に実施した保健医療大学の令和6年度学校推薦型選抜における小論文試験において、出題誤りがあったことが判明しました。

受験生の皆様、並びに関係者の皆様に御迷惑をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

出題誤りは試験の信頼を損なうものであり、今回の事態を真摯に受けとめ、今後、二度とこうしがないよう、改善・防止措置を講じてまいります。

- 1 試験実施日 令和5年11月18日(土)
- 2 試験実施場所 保健医療大学幕張キャンパス(千葉県美浜区若葉2-10-1)
- 3 入試区分 学校推薦型選抜
- 4 該当試験 小論文
- 5 実施学科専攻・募集人員・受験者数

学科・専攻	募集人員	受験者数
看護学科	40名以内	91名
栄養学科	12名以内	25名
歯科衛生学科	12名以内	18名
リハビリテーション学科理学療法学専攻	12名以内	18名
リハビリテーション学科作業療法学専攻	12名以内	18名
計	88名以内	170名

### 6 出題誤りの内容

該当試験の出題の構成は、問1から問3において、グラフで示されたアンケート結果から読み取れる特徴を説明させた上で、問4として、それらを踏まえた自身の考えを小論文としてまとめるものです(別添「試験問題抜粋」参照)。

アンケート結果のグラフは設問ごとに示されていますが、問2で示した二つのグラフのうち一つ(図2-2)について、保健医療大学において作成した図に誤りがあり、以下の点から、受験生の図の読み取りに混乱が生じた可能性があります。

- ① アンケートの回答について、複数回答式の調査結果であることを示していませんでした。
- ② 複数回答式であるにもかかわらず、誤って100%積み上げ棒グラフで表示してしまいました。
- ③ データラベルとして「回答人数のうち、該当の項目を選択した人数の割合」を表示したため、ラベルの数値と、グラフの下余白に表示されたパーセンテージの目盛りが整合していませんでした。

## 7 経緯

採点時に、複数の受験生の解答内容を見比べた際、図の解釈に大きな違いがあったことから、当該問題を確認したところ、図が誤りであったことが判明しました。

## 8 原因

表データからグラフを作成した際、複数回答であったことを認識せず、合計が100%になっているという思い込みから誤ったグラフを作成してしまいました。また、試験問題の確認を複数人で複数回行いましたが、誤りに気付くことができませんでした。

## 9 今回の取扱い

受験者に不利が生じないように、問2は受験者全員が正答したものとして取り扱います。なお、問4は、問1から問3と課題文を踏まえて論述させる問題でしたが、全ての答案を点検した結果、図2-2のグラフによる解答への影響は認められず、通常どおり採点いたしました。また、受験者全員及び推薦のあった学校全てにこの旨を通知しました。

## 10 再発防止策

出題誤りが生じないように、複数人による複数回のチェックを行う体制を執ってきたにも関わらず、今回の事態に至ったことを極めて深刻に受け止めています。

今後の入試に向けて、試験問題作成並びに精査に係る体制を再度検証し、二度とこうしたことがないよう、改善・防止措置を講じてまいります。

(別添)「令和6年度学校推薦型小論文試験問題」抜粋

問題 次頁からの図および課題文をもとに以下の間に答えなさい。

問1 図1は、防災・減災のための行動として、大地震に備えた「自助」\*1の取組に係る選択率の推移を示したものである。この図から読み取れる「自助の取組に係る推移の特徴」を3つ、具体的な数値と共に簡潔に説明しなさい。

問2 「自助」と「共助」\*2を考える上では、家族や身近な人と話し合いを持つことが重要である。図2-1は、ここ1～2年くらいの間に、自然災害への対処などを家族や身近な人と話し合ったことの有無を年代別に示したものである。図2-2は、話し合ったことがない理由を年代別に示したものである。

この図から読み取れる「各年代の特徴」を他の年代と比較して、図2-1から1つ、図2-2から2つ簡潔に説明しなさい。

問3 図3は、自然災害が起こったときに、減災のために自助・共助・公助\*3のうちどれに重点をおくべきと考えるかの回答結果を性・年代別に示したものである。この図から読み取れる性・年代別の特徴を他の性・年代と比較して3つ簡潔に説明しなさい。

問4 課題文は令和4年版防災白書(内閣府)から抜粋したものである。問1から問3と課題文をふまえて、住民の自助・共助を主体とする防災・減災の実現への課題と必要な取り組みについて、あなたの考えを450字以上500字以内で述べなさい。ただし、原稿用紙の使い方に従うこと。

(注) ※1・「自助」：自分の身は自分で守ること。この中には家族も含まれる。

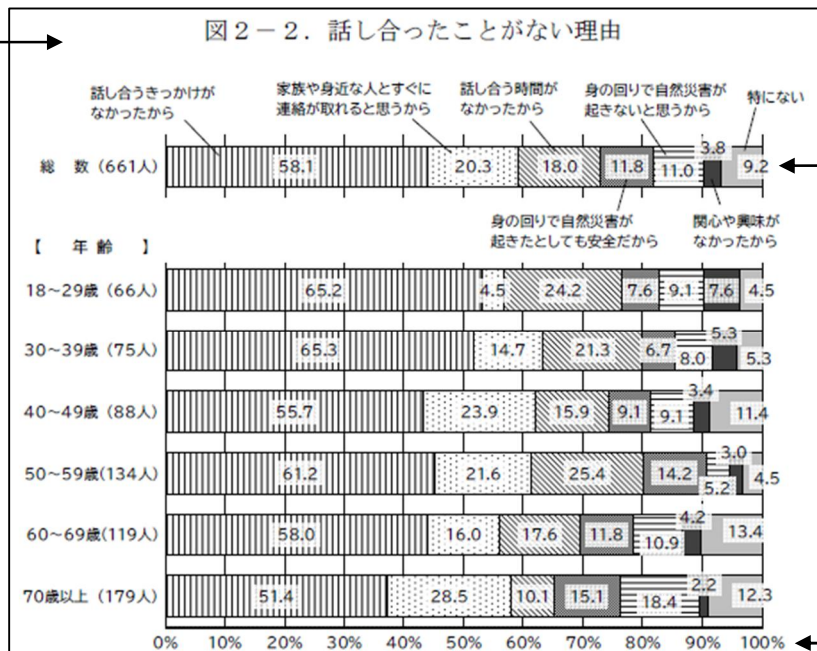
(注) ※2・「共助」：地域や身近にいる人どうしが助け合うこと

(注) ※3・「公助」：国や地方公共団体が行う救助・援助・支援

出典：内閣府「防災に関する世論調査」(令和4年9月調査)(一部改変)

誤って表示した試験問題 問2「図2-2. 話し合ったことがない理由」

【誤り①】  
複数回答式の調査結果であることを明示していない



【誤り②】  
複数回答式であるにもかかわらず、100%積み上げ棒グラフで表示している(例:「総数」の合計値は132.2%となっている ※他全ての棒グラフも同様の誤り)

【誤り③】  
各棒グラフのデータラベルの数値と目盛りのパーセンテージが整合していない